

# CNALレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 14 No.8 2012年4月30日号

編集:[editor@cna.jp](mailto:editor@cna.jp) 広告:[pr@cna.jp](mailto:pr@cna.jp) 読者登録:<http://cna.jp>

Copyright 2012 CNA Report Japan. All rights reserved.

## 製品・サービス動向-国内

### オリックス・レンテック、「Avaya Flare Experience」クラウドサービス開始を発表

日本アバイア株式会社(東京都港区)とオリックス・レンテック株式会社(神奈川県横浜市)は、「Avaya Flare Experience」のサービスプロバイダー契約を締結したと発表。(3月22日)

本提携によりオリックス・レンテックは、7月より Avaya Flare Experience をクラウドで提供する「Avaya Flare Cloud Service」を開始する。ユーザ数単位で利用できる月額課金サービスで1ユーザあたり月額7,000円を予定している。

Avaya Flare Experience は、ビデオ、固定・携帯電話、インスタントメッセージ、メールなど複数のコミュニケーションツールを、ひとつのデバイスで統合的に利用できるコラボレーション・ソリューション。

クラウドサービスによって、企業はサーバなどのITインフラを自社で所有・運用することなく、初期コストを抑えながらセキュアなコラボレーション・ソリューションを容易に導入することができる。

日本アバイアから3月22日に提供開始になった「Avaya Flare Communicator for iPad」をApp StoreからダウンロードすればiPadひとつで社内、外出先、自宅などどこからでもコラボレーションを始めることができる。

なお、クラウドサービスでは、タブレット端末やパソコンのレンタルも提供する。また今後は他の端末やOSにも対応させていくとしている。

両社は、アバイアの企業向けコミュニケーション・ソリューションとオリックス・レンテックのレンタル事業で培った資産の管理・運用ノウハウを生かし、今後も、規模や業種にかかわらず、幅広い企業を対象としたソリューションを提供していく考えだ。

### CIJ、ペーパーレス会議システムの販売を開始

株式会社 CIJ(神奈川県横浜市)は、タブレット端末で行えるペーパーレス会議システム「SONOBACOMET(ソノバコメット)」を4月2日から販売開始。(4月2日)

SONOBACOMET での会議開始方法について。まず共有する資料を1台のタブレット端末に格納し会議を進行する。その他のタブレット端末は参加する会議を選択することで、参加端末が同期し資料を共有して会議を行うことができる。会議終了時には、資料は自動削除される形になっている。なお、会議への認証方法には、認証なし、パスワード、MAC アドレス認証の3パターンから選択可能。

一方、会議中の資料操作については、参加端末それぞれが同期することで、発表者が見せたいページや部分を強調して表示することができる他、資料の拡大、縮小、回転、メモができる。また、画面分割により、2つの異なる資料を同時に表示したり、同一資料内で異なる別ページを一度に表示したりすることもできる。加えて、参加者の好みのページを閲覧する場合は、同期を解除することで可能だ。

SONOBACOMET は、カジュアルとフォーマルの2つのモードを持っている。カジュアルモードでは、サーバを必要とせずタブレット端末で会議を開催できる。小規模会議や営業プレゼンテーションなどに向けたモードという。

フォーマルモードでは、Webサーバと連携し、資料を暗号化しての格納、端末情報を登録しての認証が可能。カジュアルモードにはない会議サポート機能が利用できるため、大規模な会議やセミナーなどにも対応可能という。

資料管理の面については、同社が提供する文書管理システム「Ofigo」を使用している。資料は、秘密分散法により暗号化を行い、セキュアに保管される。その他にも、アクセス権の設定やアクセスログ監視も可能となっている。

CIJは、1976年設立。システム開発および関連するサービスを提供する。東証一部上場企業。

## co-meeting、次世代型テキスト Web 会議サービスを正式リリース

株式会社 co-meeting(東京都港区)は、テキストベースの Web 会議サービス「co-meeting」を正式リリースした。(4月10日)

co-meeting は、リアルタイムにテキストベースで Web 会議が行える無料のディスカッションサービス。co-meeting による会議はすべてテキストで行う点の特徴。

co-meeting では、従来のチャットでは難しい「空気」を伝える、音声と同等の会話をライブタイピングチャットで実現するとともに、文書作成機能ツールを搭載している文書エディタにより議論の要約や議事録を作成できるとしている。

参加者の隙間時間を利用した非同期対話で会議を進めることができるため、ミーティングの時間短縮が可能であるとともに、文書エディタを活用することでポイントの整理も容易に行える。

主な特徴は以下の通り。(1)ライブタイピングチャットは、入力内容が一文字単位で参加者に伝わる。(2)複数のスレッド、文中へのコメントが可能であるため、複数の議論を並行して行うことができる。(3)会議の内容は、議論の途中経過(履歴)も含め共有可能。加えて、会議の欠席者も参加者と同様に議論内容にコメントを入れることができる。(4)ひとつの文章を複数人で作成したり共同で作業を行うときはお互いの進捗状況がわかる。(5)ミーティングを円滑にすすめるアイコンを用意。「Like」、「Don't Like」、「Question」などクリックひとつで視覚的な情報を伝えられる。

co-meeting は、リアルタイムテキストミーティング co-meeting やソーシャルコミュニケーションダッシュボード「Crowy」など、コミュニケーションを軸に世界中の仕事をする人に向けた各種サービスを開発・運用している。2011年10月15日に開催された、株式会社サンブリッジ グローバ

ルベンチャーズとベンチャーナウ株式会社が主催するグローバルベンチャーを目指す若手起業家とエンジェル投資家とのネットワーキングイベント「InnovationWeekend 5<sup>th</sup>」の優勝企業。また、2012年1月31日付けで、株式会社サンブリッジ グローバルベンチャーズ(東京都渋谷区)などが運営するサンブリッジ・スタートアップス LLP 等を引受先とする第三者割当増資を実施している。

## ブラザー工業、クラウドサービスのポータルサイト開設と Web 会議サービスの開始を発表

ブラザー工業株式会社(愛知県名古屋市)は、新規事業としてクラウドサービスのポータルサイト「Brother Online」(ブラザーオンライン)を本年6月米国で開設、また7月以降欧州の主要国などに順次展開すると発表。(4月11日)

ブラザー工業では、個人事業者や小規模事業所、複数拠点に分散する企業のオフィスなど向けにプリンターや複合機、電子文具などを提供してきたが、さらなる業務の効率化やコスト削減、オフィスでの業務負荷の低減を図りたいというニーズに応えるため、同社製品とクラウドを連携したサービスを提供することにした。



Brother Online の概要図 (ブラザー工業 資料)

そこでその第一弾として、同社独自の Web 会議「OmniJoin(オムニジョイン)」と、他社がクラウド上で提供する各種 Web サービスとの連携を提供開始する。

OmniJoin は、以下の点において特長があると同社では説明する。(1)独自技術による高画質映像である。(2)事前予

約なしのチャット感覚で即座に会議を招集することができる。

- (3) セキュリティ面で優れており安心した通信を提供する。  
 (4) 手元にある紙資料をPC画面上のボタン1つでスキャナーから共有できる。  
 (5) 文書などのデータを同社が提供するストレージサービスに保管、共有が行える。  
 (6) 会議の録画が行え、そのデータはクラウド上に保存できる。  
 (7) 経費管理など他社が開発したクラウド上のWebサービスと連携できる。  
 (8) PC画面上のボタン1つで同社製品からスキャンしたデータを読み込み、各種Webサービスにそのデータをアップロードできる。

### ラドビジョンジャパン、SCOPIA VC240の機能強化をおこなったV2.7をリリース

ラドビジョンジャパン株式会社(東京都台東区、本社:イスラエル)は、同社が販売する一体型HD対応ビデオ会議専用端末機「SCOPIA VC240」の機能を強化するV2.7のリリースを発表した。(4月20日)



#### SCOPIA VC240 (ラドビジョンジャパン 資料)

SCOPIA VC240は、21インチHDディスプレイを搭載したオールインワン型で、デュアルビデオH.239の他、H.264/SVC&FEC、ファイアーウォール/NATトラバースに標準対応。標準価格は、38万円(消費税別)

今回のV2.7で追加された主な機能は以下の通り。(1)

コーポレートアドレスブック機能。この機能によって、VC240内のアドレス帳以外に管理サーバ上のアドレス情報から選択発信することができるようになった。「SCOPIA iVIEW Suite」または「Microsoft Active Directory」上の共有情報から参照できる。ITU-TのH.350プロトコルを採用。

(2)「NetSense」への対応。NetSenseは、ネットワーク上のロスを予測検知し通話品質に影響を与える前に帯域コントロールを行い、改善されれば元の状態に戻す仕組み。加えて、VC240が既に対応しているH.264/SVCと組み合わせることで最高品質のQoSサービスを提供するという。

(3)ウェブブラウザによるリモート・アクセス。VC240へのウェブブラウザ経由にあるアクセスが可能となり、発信や制御、設定変更など遠隔管理が可能になった。対応ブラウザは、MS IE V9以上、Mozilla Firefox V3.6以上、Google Chrome V11以上。

(4)SCOPIAソリューションとの統合。VC240 V2.7は、SCOPIA iVIEW Suite V7.7と完璧に統合されており、リモートからソフトウェアの更新や監視と管理、フォンプックの更新およびコーポレートアドレスブックとの同期が可能。また、VC240は、H.264に対応しており、「SCOPIA PathFinder V7.7」や「SCOPIA Solution V7.7」とも検証されている。

V2.7へのアップグレードは、それぞれの方法に対応するアップグレードパックが必要になる。詳細は、RADVISIONパートナーまで確認要。

### 富士通SSLのペーパーレス会議システム最新iPadへ対応&機能強化

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリー(川崎市中原区)は、ペーパーレス会議システム「Webコア Conference」のアップル社製最新iPad対応を3月30日から開始する。またiPadの特性をいかしたクライアントアプリケーションの機能の強化も行った。(3月30日)

Webコア Conferenceは、紙の資料を不要とし、効率的な会議運営を実現するペーパーレス会議システム。iPadやAndroidタブレット、スレートPCの3つの端末に対応しており



混在運用も可能。また端末の台数にかかわらず高速でページ同期ができ、資料の切り替えも可能。

もうひとつ、クライアントアプリケーションの機能強化については以下の通り。(1)Web ブラウザ機能:URL で指定されたサイトやファイルにアクセスでき、PDF 以外のファイルも閲覧できる。(2)サムネイル表示機能:資料の全ページを一覧表示し、一目で全体を確認できる。(3)しおり機能:別資料へのリンクを付箋紙に登録し、簡単に表示ページを遷移できる。(4)ページめくり機能:スライダーバーをより高速化した。(5)マーカーペン機能:iPad 上で資料にラインを引くことができる。(6)プレビュー機能:書棚に並んだ資料の表紙を拡大表示し、選択する資料を見分けやすくする。

販売価格については、サーバライセンスが 630,000 円。クライアントライセンスは、21,000 円。クライアントライセンスは、1ユーザにつき1ライセンスが必要。別途保守費用が必要となる。サーバはノートパソコンを利用可能。ただし、サーバ、無線 LAN 環境、アップル社製 iPad/富士通製 Android タブレット/富士通製スレート PC は別途ユーザ用意となっている。

## ビジネス動向-国内

### 教育産業、中部地区のポリコム認定代理店に、文教分野において力を入れる

教育産業株式会社(愛知県名古屋市)は、2012年3月よりポリコム社の「Polycom Video Certified」を取得し日本国内における「認定代理店」として正式に登録されたことを発表した。(3月30日)

教育産業は、中部地区を中心に事業展開を行う視聴覚システム構築を専門とした企業。愛知、岐阜、三重、静岡、東京各地9ヶ所に営業所がある。社員数は、148名。

1937年に写真機店として創業(2011年に75周年を迎えた)、古くはナトコ映写機の取扱いから始め、今日まで映像や音響機器システムの構築を中心とした分野で事業を拡大してきた。中部地区の製造業を中心とした企業(大企業から中小企業まで)や小中高、専門学校、予備校、大学に対しての納入実績を豊富に持つ。

ビデオ会議システムについては、映像や音響機器の関連からポリコム以外の製品も含め昔から取り扱ってきた。「当社にとっては映像や音響システム構築をメインで対応してきたが、会議室やホールにおいてビデオ会議システムを組み合わせたソリューションも構築した経験が多数ある。たとえば、大学での遠隔講義や企業での会議用途だ。」(教育産業)

加えて、ビデオ会議システムを活用した、愛知県下の大学でのキャンパス間を結んだ講義中継や文科省の大学間連携による単位互換の取り組みなどにおいて実績があるという。



ビデオ会議ルームの施工イメージ(1)(教育産業 資料)



ビデオ会議ルームの施工イメージ(2)(教育産業 資料)

「今後その経験と実績を活かし、中部地区のお客様を中心に、新規ユーザへの販売やリプレース、あるいはソリューション販売を行っていく。その中で特に今期ポリコムジャパンが注力するマーケットのひとつである文教分野において力を入れ

ていきたい。」(教育産業)

並行して、中部地区における教育現場でのビデオ会議システムの利活用促進を目的とした教育コンソーシアムの設立を目指してポリコムジャパンと協力していく意向だ。

また将来的には、ショールーム設置を含め、中部地区におけるテレプレゼンスシステムの販売パートナーとなっていくことも視野に入れているという。

「ビデオ会議システムは、ハイビジョンに対応してきたことから製品として成熟してきた感がある。トップの人の移動リスクや意思決定の迅速化などに大きく貢献するものと期待している。一方、ビデオ会議システムの利用はこれまでは会議室での用途が多かったが、今後は、会議室だけでなくさまざまな用途も提案していきたい。」(教育産業)

## 製品・サービス動向-海外

### シスコシステムズ社、モバイルビデオ製品の強化とテレプレゼンス新製品の発表

米シスコシステムズ社は、モバイルビデオ製品の機能の強化とテレプレゼンス新製品を発表した。(3月27日)



#### Cisco Jabber for Windows(シスコシステムズ 資料)

発表内容は以下の通り。(1)「Cisco Jabber」の iPad と Windows 対応。Jabber for Windows

(ユニファイドクライアント)については、マイクロソフトオフィスとの連携も可能。Jabber for iPad は、XMPP、SIP。Jabber for Windows は、上記2つに加えてBFCPにも対応。今回の発表により、Jabberのポートフォリオは、アンドロイド、iOS、Mac、BlackBerry、「Cisco Cius タブレット」となる。HDビデオ(H.264)、音声、プレゼンス、インスタントメッセージング、デスクトップ共有、コンファレンシング、ビジュアルボイスメールを活用したユニフ

アイドコミュニケーションが行える。オンプレミスおよびクラウドに対応する。



Cisco Jabber for iPad(シスコシステムズ 資料)



Cisco TelePresence TX9000(シスコシステムズ 資料)

(2)Jabber とテレプレゼンス専用機とのネイティブなインテグレーションを強化。モバイルユーザがテレプレゼンスセッションに参加する際にさらに簡単に接続できるようになった。

(3)「Cisco TelePresence TX9000」の発表。3スクリーンタイプのテレプレゼンスシステム。映像については、H. 264 コーデック、解像度/フレーム数は 1080p60fps、またデータ共有については、1080p30fps での通信が可能。使用帯域は、従来製品の 20%削減できる。通信プロトコルには SIP、TIP、BFCF に対応。操作は、「Cisco TelePresence Touch」を使用。TX9000 は、6 人掛けのテーブルを用意。もうひとつテーブルを加えると 18 人掛けのテレプレゼンスシステムとなる。設置には、特別なライトや音響設備は不要。最短で 2 日でセットアップ可能。オプションで壁掛けやフリースタンドのライトリフレクターを用意。販売開始は、2012 年第2四半期を予定。北米価格は、299,000ドル。

(次ページへ続く)

## 米 Vidyo 社、ビデオ会議の仮想化対応

米 Vidyo 社、ビデオ会議の仮想化対応を発表。今年後半発売の予定 (general availability)。(3 月 26 日)

同社が今回発表したのは、「VidyoRouter Virtual Edition(VE)」。VMWare の仮想化プラットフォームを使用してメディアプレーンを仮想化。低遅延を保ちながら多地点のテレプレゼンス環境に拡張性をもち、またテレプレゼンスシステムの分散導入に柔軟性を与える特長があるとしている。

今回の仮想化によって、サービスプロバイダーは、少ない投資とローリスクで顧客に対して効率的かつ柔軟にビデオサービスを提供したり拡張したりすることが可能になる。その際、オンプレミス(社内ネットワークに導入する方法)とクラウドサービスの連携もしやすいという。

一方企業のメリットとしては、特定のハードウェアコストの追加をすることなく、多地点の分散環境を拡張でき、導入コストや WAN 使用にともなうコストの低減を図ることができる。もちろん、オンプレミスだけでなくクラウド上に構築も可能だ。

## Saba 社、ソーシャル、モバイル、ビデオを統合した Saba Meeting を発表

米 Saba 社は、ソーシャル、モバイル、ビデオを統合したユニファイドコラボレーションプラットフォーム「Saba Meeting(サバミーティング、旧:Saba Centra)」を発表した。(3 月 20 日)

プレスリリースのコメントによると、Saba 社では、今後コラボレーションは、単なるビデオスクリーンの共有に留まらず、同期および非同期のインタラクションと、他の人々とのソーシャルな関係を構築できる環境を提供できることが必須と見る。その点、同社の Saba Meeting は、Web 会議業界では革新的なプラットフォーム(game changing)になると自負する。

Saba Meeting は、HD に対応したビデオ、Voice over IP(VoIP)、コンテンツ共有、iPad や iPhone のモバイル対応、

ビデオレコーディング、インスタントメッセージングなどに特長があり、ライブビデオについては同時に 8 人までの配信、また、ネットワークの環境に柔軟に対応するスケーラブルな帯域制御に対応する。Windows、Linux、Mac で動作する。刷新されたユーザーインターフェイスはブラウザーベースで特別なソフトウェアのダウンロードは不要で直感的な操作環境を提供している。加えて、オープン API を提供することで、たとえば、カスタマー リレーションシップ マネージメント(CRM)、ラーニング・マネージメント(LM)、セールス フォース オートメーション(SFA)との連携が行えるようになっている。Saba Meeting は、現在ベータ版。4 月より提供開始予定。

## ビジネス動向-海外

### ライフサイズ社とリージャス社提携し 240 ヶ所にライフサイズビデオ会議システムを設置

ロジテック社のビデオ会議部門であるライフサイズ社は、レンタルオフィス・バーチャルオフィスの大手リージャス社と提携したことを発表。(3 月 28 日)

ライフサイズ社の 1080pHD 対応ビデオ会議システム「LifeSize 220 シリーズ」を、「LifeSize Public Room(LPR)」として、リージャス社の世界 240 ヶ所のオフィスに設置する。

リージャス社のレンタルオフィス・バーチャルオフィスを使用する顧客は、LPR のビデオ会議システムを使って遠方にいる社内の同僚と資料共有での打合せや、取引先や顧客などとのミーティングもおこなえる。

リージャス社によると 1,200 もの拠点において、高品質なビデオ会議利用へのニーズが増えているという。

### Vidtel 社と Vaddio 社、共同マーケティングで提携

米 Vidtel 社と Vaddio 社は、共同マーケティングで提携したと発表。(2 月 1 日)

共同マーケティングの内容は以下の通り。(1)Vaddio 社は、Vidtel 社の「MeetMe」サービスを、Vaddio 社の北米のインテグレーターやリセラーに利用促進を図る。(2)MeetMe サービ

スを Vaddio 社の販売製品のひとつとして取り扱う。(3)両社は共同で販売や販売チャネル開拓を行う。

Vidtel 社は、SMB 向けのクラウド型ビデオ会議サービスを提供する 2008 年設立。シリコンバレーをベースにするベンチャー企業。会議室向けのテレビ会議システムからデスクトップ、PC、Mac、スマートフォン、タブレットに対応したエニーツエニー(any to any)のクラウドサービスを提供する。SIP や H.323、Skype、Google Talk に対応している。

Vaddio 社は、AV システムからテレビ会議、また放送向けの PTZ カメラやカメラコントロールシステムなどを提供している。また、テレビ会議と組み合わせて使える「Squiggle ビデオホワイトボード」なども販売する。日本国内における Vaddio 社製品は、松田通商株式会社(東京都港区)で取り扱っている。

### **Vidtel 社と Matrix Video Communications 社 提携、カナダ西部地区へクラウド型ビデオ会議 サービス**

米 Vidtel 社とカナダの Matrix Video Communications 社が提携したと発表。(4月2日)

今回の提携によって、Matrix Video Communications 社は、カナダ西部地区の SMB ユーザ向けに Vidtel 社のクラウド型ビデオ会議サービスを提供する。

Matrix Video Communications 社は、1994 年設立。放送機器や AV 機器システム構築などの事業を展開。カナダのバンクーバー、カルガリー、エドモントン、レジャイナ、サスカトゥーンなどにオフィスがある。

### **AGT 社と Compunetix 社、モバイルビデオ実 現へパートナーシップ提携**

米 Applied Global Technologies 社(AGT)は、モバイルビデオにおいて米 Compunetix 社とパートナーシップを提携した。(3月15日)

AGT 社のグローバルパートナープログラムによって、AGT 社のモバイルビデオ技術(ENCORE Mobile Pathway

Protocol)を含む「ENCORE UC ビデオプラットフォーム」と Compunetix 社のビデオ会議システム向けの多地点接続装置(MCU)を組み合わせて、スマートフォン、タブレット、ノート PC、専用端末の間でビデオ会議を実現する。

加えて、モバイルビデオ用のアプリをアップルストアにて提供する予定。

AGT 社は、マネージドサービスや UC 技術を提供する企業。1993 年設立。設立以来は、遠隔教育、州政府、連邦政府、国防省、フォーチュン 1000 社、SMB、サービスプロバイダー向けのソリューションを開発、提供してきた。

米 Compunetix 社の日本における販売代理店は、株式会社日立ハイテクノロジーズ(東京都港区)。

### **Yorktel 社、英 First Connections 社の買収・合 併を発表、EMEA 地域の事業展開を強化**

米 Yorktel 社は、イギリスの First Connections 社の買収・合併を発表した。今回の買収・合併には、Yorktel 社の欧州・中東・アフリカ(EMEA)地域におけるビジネス展開を強化する狙いがある。(4月3日)

Yorktel 社は、2006 年に EMEA に進出(イギリス ウィンザー)。そして 2011 年 6 月にはオペレーションを拡大していた。そして今回それを強化する目的で、First Connection 社を傘下に入れることになった。First Connections 社は、15 年もの AV システムソリューションやビデオネットワーク、ストリーミングの実績がある。イギリスとアイルランドに 8 箇所のオフィスを構える。シスコシステムズ社の Cisco Advanced Technology パートナーと、ポリコム社のプラチナリセラーの認定を取得している。2011 年には、「Cisco 2011 TelePresence Partner of the Year award for EMEA」を受賞。

米 Yorktel 社は、1995 年設立。ビデオマネージドサービスを大企業から政府、そして SMB へ提供している。2011 年 12 月には、Blue Jeans Network 社と戦略的提携を発表。Blue Jeans Network のクラウドビデオサービスを Yorktel 社のビデオサービスに統合。既存のテレビ会議の他、Skype、マイクロソフト「Lync」、「Google Video Chat」などの相互接続を実現。



またその統合を基に今年1月には、Yorktel社は、クラウドサービス「Yorktel Video Cloud Connect」と「Cloud Connect+」を発表している。本社は、ニュージャージー州 Eatontown。営業所は、ボストン、ワシントン D.C.、シラキューズ、バッファロー、バージニア、そしてイギリスにあるウィンザーとベイシングストーク。社員数350人、年商100億ドル以上。

## 導入・利用動向-国内

### SOBA プロジェクトの SOBA mieruka が長崎県立鳴滝高校に正式採用

株式会社 SOBA プロジェクト(京都市下京区)は、同社の Web 会議システム「SOBA mieruka(ソーバ・ミエルカ)」が長崎県立鳴滝高等学校通信制課程の授業に正式採用が決定したと発表。(4月5日)



鳴滝高校からの遠隔授業の様子 (SOBA プロジェクト 資料)

同校の通信制課程には、対馬、壱岐、五島などの「しま地区」に住む生徒が在籍しているが、鳴滝高校本校は長崎市内にあるため、しま地区の生徒がスクーリング(面接指導)に通学するのは難しい。これまでは面接指導をしま地区の協力校の先生が代わりに実施していたがレポートは本校の先生に提出するために、評価の一体化が図りにくく生徒自身の本校への帰属意識も薄れるという課題などがあった。

長崎県教育委員会は、2010年より、こういった状況を解

決し離島での教育内容の充実を図るため、鳴滝高校を指定校として対馬高等学校、壱岐高等学校、五島高等学校とをつなぎ遠隔授業の研究を実施した。SOBA プロジェクトは、室内での設置方法や周辺機器の利用方法について提案やシステム改善を行いながら数年間の研究授業に協力。今回、SOBA mieruka の正式採用となった。

遠隔授業による生徒からの反応としては、「他の島の生徒と一緒に授業が受けられる。」「本校の先生と話せた。」といった感想から、遠隔授業の環境においても「自分で教科書を読んで勉強しても分からなかったところがわかった。」「英語の発音が分かりやすい」といった前向きな感想が聞かれたという。

## セミナー・展示会情報

\*下記リンクからご覧ください。

<国内> <http://cnar.jp/cna/event-j.html>

### コミュニケーションツールの最新活用事例

～ 市場の変化を先取りするにはスピード感!! ～  
 日時:5月9日(水) 13:30～16:30 (受付:13:00～)  
 会場:リコージャパン株式会社 新潟支社  
 主催:リコージャパン株式会社  
 詳細・申込:  
<http://www.rioh-japan.co.jp/kanto/event/niigata/120509/>

### ユニファイド・コミュニケーション(Avaya FlareR)体験会

日時:5月15日(火) 14:00～16:00  
 会場:日本アバイア内 セミナールーム(東京都港区)  
 主催:日本アバイア株式会社  
 詳細・申込:<http://www3.avaya.com/jp/events/uc/index.asp>

### 【iPad 無料セミナー 5月16日】

営業現場や会議室に縛られないビデオ会議での実際企業の iPad 活用術セミナー  
 即時性や素早い意思決定といった、知的コラボレーションを要求するビジネスシーンに焦点  
 日時:5月16日(水) 19:00～20:30  
 会場:Apple Store, Ginza 3F シアタールーム(東京都中央区)  
 主催:アルカディン・ジャパン株式会社  
 詳細・申込:  
[http://www.arkadin.co.jp/S-pn-ipad\\_video\\_seminar\\_pr.html](http://www.arkadin.co.jp/S-pn-ipad_video_seminar_pr.html)

### UC サミット 2012

日時:5月16日(水) 9:30～(受付:9:10～)  
 会場:ベルサール飯田橋ファースト(東京都文京区)  
 主催:株式会社リックテレコム  
 詳細・申込:<http://www.ric.co.jp/expo/uc2012/>



**第3回教育 IT ソリューション EXPO**

日時:5月16日(水)~18日(金)10:00~18:00

会場:東京ビッグサイト 西2ホール

主催:リード エグジビション ジャパン株式会社

後援:一般社団法人日本教育工学振興会 (JAPET)

詳細・申込:<http://www.edix-expo.jp/Home/>

\*エイネット、共信コミュニケーションズ、  
ソニービジネスソリューション、VQS マーケティング、  
プリンストンテクノロジー (Vidyo、ポリコム)、リコージャパン 他、遠  
隔会議関連の出展社あり。

**第2回スマートフォン&モバイルEXPO春**

日時:5月9日(水)~11日(金) 10:00~18:00

会場:東京ビッグサイト 東5・6ホール

主催:リード エグジビション ジャパン株式会社

詳細・申込:<http://www.smart-japan.jp/ja/Home/>

\*NEC情報システムズ、NTTアイティ、  
プリンストンテクノロジー(Vidyo/Frontline)、三谷商事 など遠隔  
会議関連の出展社あり。

『ビデオ会議システム 円滑運用ノウハウ』ご紹介セミナー  
東京・大阪同時開催

~複数メーカー新旧混在、タブレット端末からの接続を実現して既存システムを有効活用~

日時:5月18日(金)14:30-17:25

会場:シスコシステムズ 本社

主催:パナソニック電工インフォメーションシステムズ株式会社

共催:シスコシステムズ合同会社

詳細・申込:

<https://event.panasonic-denkois.co.jp/public/seminar/view/240>『ビデオ会議システム 円滑運用ノウハウ』ご紹介セミナー  
東京・大阪同時開催

~複数メーカー新旧混在、タブレット端末からの接続を実現して既存システムを有効活用~

日時:5月18日(金)14:30-17:25

会場:シスコシステムズ合同会社 大阪オフィス

主催:パナソニック電工インフォメーションシステムズ株式会社

共催:シスコシステムズ合同会社

詳細・申込:

<https://event.panasonic-denkois.co.jp/public/seminar/view/239>

## &lt; 海外 &gt;

<http://cna.jp/cna/event-r.html>**Interop Las Vegas 2012**

日時:5月6日-5月10日

会場:アメリカ ネバダ州 ラスベガス

主催:CMP Media LLC

詳細・申込:<http://www.interop.com/lasvegas/>

\*遠隔会議関連のカンファレンスあり。

**InfoComm 2012**

日時:6月9日-6月15日

会場:アメリカ ネバダ州 ラスベガス

主催:InfoComm International

詳細・申込:<http://www.infocommshow.org/>

\*遠隔会議業界では、代表的な展示会。会議システム関係が多数展示。

**定期レポート 電子ブック版**

CNA レポート・ジャパンでは、毎月2回業界ニュース(定期レポート)を1999年から発行しておりますが、この度、カタログスクウェアさんに、2003年から2011年までの定期レポートを1年毎に合冊していただきました。

**CNA Report Japan アーカイブ 電子ブック版**[http://www.catalog-square.jp/cna\\_report/](http://www.catalog-square.jp/cna_report/)

定期レポート(PDFファイル)は年間23号発行されておりますが、電子ブックによって1年分を一度にダウンロードできこれまでのように1号毎にPDFをダウンロードする必要はありません。もちろん今までのPDFもアーカイブしています。

電子ブック版は、本のページをめくるようにとても読みやすくなりましたし、また1年単位ですが全文検索もしやすくなりました。定期レポートの読者の皆さんにとっても良いのではないかと思います。

ちなみにこの定期レポートは私にとっては、遠隔会議のリサーチの一環としてまとめているものでもありますし、また、私自身の活動を広げていくためのプラットフォームになっています。

**カタログスクウェア株式会社**<http://www.catalog-square.jp/>

\*遠隔会議業界で長くお勤めされ、今年電子カタログ・ソリューションで起業された方が経営されている会社です。

**編集後記**

今号もお読みいただきましてありがとうございました。

この電子ブック版についてご意見等ございましたらよろしくお問い合わせいたします。橋本宛 [cna@cna.jp](mailto:cna@cna.jp)

次号もよろしくお願い致します。

橋本 啓介